

地域経済

新たな挑戦にズームアップ

世界初の完全養殖クロマグロを本格出荷へ

ファンドと協力、ブランド戦略を展開



えさを求めて水面に殺到するマグロ



ブリミー

▲40m四方のマグロのいけすにえさのイワシを投入する作業



▲ブリミーの濱隆博取締役



▲いけす内を泳ぐ養殖マグロ



▶天草市楠浦町のブリミー本社

水産加工販売のブリミー（天草市楠浦町、濱忠臣社長）は近く、完全養殖したクロマグロの出荷を本格的に開始する。同社は07年12月から近畿大学水産研究所とクロマグロの完全養殖に取り組んでおり、世界で初めて成功している。同研究所が人工ふ化させた稚魚を同社が牛深沖のいけすで約2年半かけて養殖。6月下旬に有明海と八代海で発生した赤潮の影響で当初の予定より遅れて、10月頃をめどに出荷を始める。出荷は主に米国向けで将来的にはEU諸国への出荷も目指す。また、今年1月にはドーガン・インベストメントと肥銀キャピタルによる出資を受け、養殖したクロマグロのブランド化を検討しており、年内に詳細を発表する予定。

同社では「米国やEUでは生産管理がしっかりされた養殖を高く評価する傾向があり、主に欧米向けの販売に期待している。今後は生産量を増やしていきたい」と話している。



前田泰良
尚綱中学・高校校長



江口吾朗
（学）尚綱学園理事長



▲熊本市九品寺の尚綱学園



尚綱学園

▲8階建て中高合同校舎や円形アリーナ完成後の九品寺キャンパスの予想図



▲同地の大学キャンパス

同学園は「建学の精神の深化と教育のより一層の充実を図り、中学から大学までの一貫教育の実現を目指す。学園内諸施設の新築・改築に順次着手し、地域に開かれた新たな九品寺キャンパスを作りたい」と話している。

新築するのは、8階建て中高合同校舎、5階建て合宿所兼セミナーハウス、2階建て体育館併設の円形アリーナの3棟。

また、同学園では中高一貫コース新設に合わせ、同市九品寺2丁目の学園敷地内に新校舎を建設している。

併せて尚綱高校を「中高一貫」「特進」「総合」の3コースに再編。さらに、尚綱大学との連携も深め、高3時に特進コースに「国公立文系」「国立理系」、総合コースに「文系」「幼児教育」「総合生活・情報ビジネス」「食物」「医療」の各クラスを設け、生徒の志望によってクラスを選択できる仕組みを整える。新設する中高一貫コースでは、カリキュラムも新たに作成。英語教育に特に力を入れた進学指導の強化、装道・華道・茶道による徳育・情操教育の推進、校内での野菜作りなどエネルギー循環のモデルを取り入れた環境教育の推進の3つを柱に、教育を展開する。英語教育では、外国人による授業や語学研修を通して、英会話だけでなくスピーチ・ディベートができる学生の養成を目指す。他にも、パソコンを使ったeラーニングなどを活用した個別指導・自主学习の推進を図る「尚綱塾」や、学外からの講師などを招いた多様で専門的な学習会「尚綱ゼミ」なども実施する。

尚綱中学に中高一貫コースを新設